

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21599
事業名	パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費					
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課				
	課長名	木戸	担当者名	工藤	電話番号	011-211-2261
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他				
	目的	短期	世界の若手音楽家の育成(令和4年度:PMF修了生の延べ人数3,717人) 世界的に優れた音楽に触れる機会を札幌市民に提供し、札幌市の文化芸術を振興する。			
		長期	音楽教育、人材育成という立場から社会に貢献し、クラシック音楽の普及と発展に寄与するとともに、PMFを通じて札幌市の魅力を国内外に発信する。			
	取組内容	①PMF事業:世界の若手音楽家に対する教育事業、演奏会事業(各種コンサート)、音楽普及事業(リンクアップコンサート、教育セミナー等) ②市長歓迎レセプションの開催 ③事務費				
	実施結果	■教育事業:世界で活躍する音楽家を教授陣に迎え世界の若手音楽家(アカデミー生)を育成 ■演奏会事業:教授陣、アカデミー生、ゲストアーティストによる多彩なコンサートを実施 ■音楽普及事業:クラシック初心者向けの音楽講座など、音楽の幅広い普及を目指す取組を実施 令和3年度実績値:アカデミー生参加者67人、入場者数5,314人 ※令和3年度はコロナ禍のため26公演予定のうち13公演を中止。				
事業実施における工夫点	渡航が制限されている海外の教授陣によるデジタルコンサート等のオンラインを活用した事業も積極的に実施するなど、コロナ禍においても多くの方々安心して鑑賞することができるよう対策を行った。					
対象者	市民、世界の若手音楽家、観光客	開始	平成4年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例					
他都市の状況	音楽の質、規模、国際性などの観点から、本市と同質の教育音楽祭は、国内他都市にはない。 (世界三大音楽祭:タングルウッド音楽祭(アメリカ)シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)、PMF)					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	56,823	269,000	147,958	302,000	
うち特定財源	0	87,000	69,838	82,252	
人工	0.5	0.0	0.0	0.5	
人件費	3,600	0	0	3,600	
計(事業費+人件費)	60,423	269,000	147,958	305,600	
事業費の内訳	令和3年度決算	事業費負担金:147,557千円 一般事務費:401千円			
	令和4年度予算	事業費負担金:300,504千円 歓迎レセプション:930千円 一般事務費:566千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	PMF修了生の延べ人数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3,607人	3,707人	3,665人	3,855人	
活動指標2	指標名	演奏会入場者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	0(中止)		5,314人		
成果指標1	指標名	PMFの認知度			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	51.70%		51.60%		
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	これまで延べ3,600人余りの若手音楽家を輩出し、世界の主要なオーケストラをはじめとした各国の楽団でPMF修了生が活躍している。また、音楽を通じて札幌の魅力を発信し続けており、集客交流にも寄与している。さらに、札幌芸術の森、札幌コンサートホールでの演奏会のほか、市内各所での無料コンサート、市内小学生を対象とした参加型のリンクアップコンサートなど、多くの市民が世界的に優れた音楽に触れることのできる機会を数多く提供しており、本市の文化芸術振興に寄与している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	コロナ禍の影響による会期短縮やアカデミー生の人数削減などは行っているが、世界三大教育音楽祭の一つとしてその質を確保しつつ状況に応じた適正な事業規模を維持している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業は世界の音楽文化の発展に貢献しているほか、市民に対してクラシック音楽の魅力を伝え、世界的に優れた音楽を気軽に楽しむことができる機会を提供するとともに、演奏者のレベルアップを図るなど、本市の音楽文化の普及と発展に寄与するものであることから、今後も本市と公益財団法人PMF組織委員会との共催事業として実施することが適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	市民へ良質な音楽に親しむ機会を提供することを通じて、本市の文化芸術の振興に寄与している。 また、世界から招へいた一流の教授陣が世界中から集まったアカデミー生への教育を実施することで、クラシック音楽の普及と発展に寄与するとともに、札幌市の魅力を世界へ発信したものと認められる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、PMF2020は創設以来初の開催中止、PMF2021は会期短縮を行っており、今後の協賛金確保やチケット販売といった収入面への影響も懸念される。PMFの継続発展に向けて、コロナ禍においても、新たな形に挑戦しながら、最高水準の音楽教育の提供と魅力的な音楽祭の開催を続けていくことと併せ、持続可能な運営に向けた財政基盤の確立を目指す。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	渡航が制限されている海外の教授陣によるデジタルコンサート等のオンラインを活用した事業も積極的に実施するなど、コロナ禍においても多くの方々が安心して鑑賞することができるよう対策を実施		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	オンライン活用などのノウハウの蓄積も進み、より多様な形で鑑賞の機会を創出することができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 引き続き海外からアカデミー生やアーティストを招聘したPMFを開催し、多くの市民や観光客に世界的に優れた音楽に触れる機会を提供するとともに、PMF認知度の向上に向けた取組も進める。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 引き続き、企業協賛等の確保を図り、現状の予算規模を維持する。		見直し効果額	0